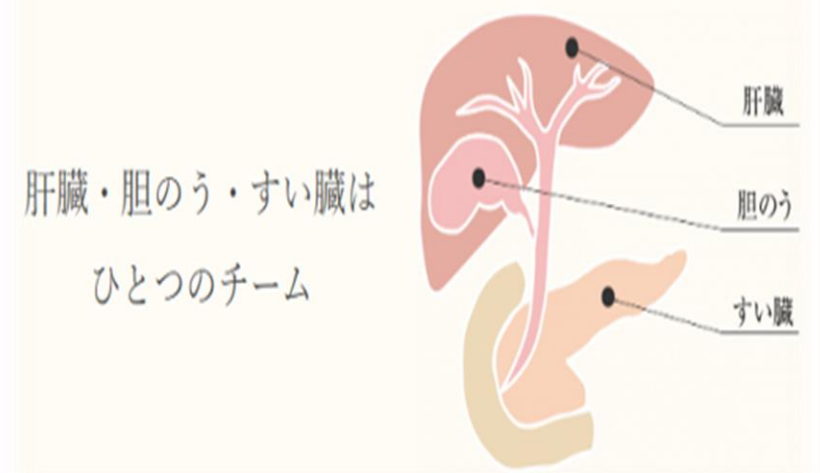


膵臓がん (MRCP) オプション検査

膵臓がんって?!

沈黙の臓器と言われている膵臓、肝臓、胆のう。がんになってもほとんど症状がなく、特に膵臓がんは進行がとても速く、気付いた時には既に遅く治療できない状態であることが多いがんです。



MRCP検査の特徴

MRI装置の磁場と電波を利用して、胆汁や膵液の流れを信号として捉え、胆管や膵管の部分画像として抽出。CT検査や腹部超音波検査では見つけにくい小さな異常や、消化管のガスに影響されやすい膵臓の奥の部分なども詳細に評価ができます。



MRCP検査のメリット

- 【非侵襲性】：造影剤を使用せず、体への負担軽減
- 【早期発見】：沈黙の臓器といわれる膵臓などの病変を症状が出る前の段階で見つけることが可能
- 【高度な画像】：MRIの特性を活かし、胆道や膵臓の細微な変化を捉えやすい

発見できる主な病気

- 【悪性腫瘍】：膵臓がん、胆のうがん、胆管がんなど
- 【嚢胞性疾患】：肝嚢胞性疾患
- 【結石】：胆石、総胆管結石
- 【形態異常】：胆管や膵管の解剖学的異常

検査所要時間
約20~30分

料金
26,400円

どんな人が検査を受けるべき?

- ・ 家族に膵臓がんの人がいる方
- ・ 糖尿病の方
- ・ 健康診断などで膵臓や胆のうに異常が見つかった方
- ・ 上腹部の不調が続く方

MRCP

magnetic
resonance
cholangiopancreatography

MR胆管、すい管撮影